

# 第11回 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都

2017年10月29日(日)午後2時～ 京都・円山音楽堂

# 変えよう！ 日本と世界

～ 改憲阻止！ 政治を私物化する安倍政権を倒そう！～

## プログラム

司会 千葉宣義さん/ 大川なをさん

▼14:00

主催者挨拶と集会基調 仲尾 宏 さん (集会実行委・代表世話人)

\* 配布の「集会基調」を参照してください。

連帯挨拶 関西から反戦・反基地闘争のうねりを

中北龍太郎 さん (戦争あかん！基地いらん！関西のつどい実行委員会)

▼14:15

講演 総選挙を受けて、「戦争」と「戦後平和主義」を問う

伊藤公雄 さん (京都大学名誉教授)

▼14:45

公演 差別・排外主義を許すな一戦争法いらん・原発あかん・基地いらん

川口真由美 さん & 「おもちゃ楽団」

(★ キャンパ アピール 司会から)

▼15:18

特別挨拶 国会と大衆闘争を結ぶ 服部良一 さん (元衆議院議員)

▼15:28

講演 人間の尊厳をテーマに闘う芸術家、沖縄を叫ぶ……

金城 実 さん (彫刻家、沖縄・読谷村在住、沖縄靖国訴訟原告団団長)

▼15:58

連帯挨拶 大飯原発再稼働を許すな！、全国の闘う仲間とともに

柳田 真 さん (東京・たんぽぽ舎 代表)

労働運動の新たな展望をめざして、連帯労組から

垣沼陽輔 さん (全日本建設運輸連帯労働組合近畿地本・委員長)

11・5 京丹後現地闘争へ、基地はいらん！

福井滲子 さん (米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会)

▼16:15

まとめと行動提起 寺田道男 さん (集会実行委・事務局長)

▼16:20

インターナショナル (歌詞・裏面)

★会場内のゴミ分別に御協力を！★

袋色一白(紙類)、白(缶・ペット類)、白(生ごみ)

▼16:40 デモ 出発 →四條通→河原町四條→京都市役所前 解散

主催 第11回 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都 実行委員会

## 「第11回 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都」の開催にあたって

2017年、世界と日本はますます行き場のない混迷を重ねている。排外と挑発を重ねるアメリカのトランプ政権、ヨーロッパEU諸国の激動、そしてこの国も、独裁色を強める安倍政権が、日米軍事同盟を何よりも優先し、特定秘密法、戦争法、共謀罪など、異論には耳を傾けず、立憲主義・民主主義を無視し、この国を「戦争をする国家」へと変えてしまった。その安倍政権はまた、「森友・加計」疑獄などにみられるように利権あさりや腐敗を重ねている。しかし多くの人たちはこの事態に黙っている訳ではない。今や「アベやめろ」の声が全国各地であがっている。

私たち一人ひとりの力が今ほど試されている時代はない。沖縄の米軍や自衛隊の新基地建設に抗しながら、戦争法の発動を許さず、憲法9条の改悪を何としても止めなければならない。子供たちの未来のために、何よりも「物言えぬ」戦時(有事)体制下の政治・社会にさせてはならない。「反戦・反貧困・反差別」の旗をさらに高く掲げ、私たちをとりまいて黒い雲を吹き飛ばす「うねり」を共に創り出そうではありませんか。

負けてはなりません。安倍政権を打倒し、未来を切り開きましょう。

(集会基調は別紙、参照ください!)

### スピーカー&パフォーマー プロフィール

#### ●伊藤 公雄 (いとう きみお) さん

文化社会学、政治社会学、ジェンダー論専攻。京都大学名誉教授。著書に『光の帝国/迷宮の革命—鏡の中のイタリア』青弓社 1993年 / 『「できない男」から「できる男へ」』小学館 2002年 / 『「男女共同参画」が問いかけるもの—現代日本社会とジェンダー・ポリティクス』インパクト出版会 2003年 / 『「戦後」という意味空間』インパクト出版会 2017年 など多数。

#### ●金城 実 (きんじょうみのる) さん

沖縄や戦争、人間の尊厳をテーマに創作を続ける彫刻家。沖縄県浜比嘉島に生まれ、京都外国語大学卒、現在は読谷村在住。沖縄靖国訴訟原告団団長。作品は「長崎平和の母子像」 / 「チビチリガマ世代を結ぶ平和の像」など多数。また著書は『土の笑い：オキナワへ、オキナワから』筑摩書房 1983年 / 『沖縄を彫る』現代書館 1987年 / 『知っていますか? 沖縄一問一答』解放出版社 1996年 / 『沖縄から靖国を問う』宇多出版企画 2006年 など多数。

#### ●川口 真由美 (かわぐちまゆみ) さん

今回はおもちゃ楽団の仲間と出演。川口さんは障害者通所事業所の仕事をしながら三人の子どもさんを育てるシングルマザーで、「命どう宝」命こそ宝をテーマに全国に闘いの仲間を増やす活動をしている。とくに沖縄・辺野古ゲート前闘争では、当初から月1回のペースで座り込み、「粘り強く闘いを拓げる」と語り、その力強い歌と踊りは、現場に座り込む人々から大きな共感を受けている。DVD [レジスタンスなう] などをリリース。

**資料** 第48回衆議院議員総選挙 2017年10月22日投票 開票結果

獲得議席

投票率 53・68% (戦後最低になった2014年衆議院選の52・66%に次ぐ低さ)

政党名	自民	公明	維新	希望	立憲	社民	共産	無所属
小選挙区	218	8	3	18	17	1	1	23
比例区	66	21	8	32	37	1	11	0
合計数	284	29	11	50	54	2	12	23
議席増減	0	-5	-3	-7	39	0	-9	-22

与党(自公) 313議席 (改選前—318議席) 野党 152議席 (改選前—154議席)

獲得投票数(単位・万)と比例区得票率(%)

政党名	自民	公明	維新	希望	立憲	社民	共産	無所属
小選挙区	2671	83	176	1143	485	63	499	418
比例区	1855	697	338	967	1108	94	440	64
比例得票率	33.3	12.5	6.1	17.4	19.9	1.7	7.9	1.2

第 11 回 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都

集会基調

1

安倍自民党は、10・22 選挙で野党の分裂に乗じて圧勝した。安倍政権はこの 6 年、秘密保護法にはじまり安保関連法(戦争法)、共謀罪と次つぎと悪法を通してきた。それも、安保関連法に典型的なように、憲法解釈を勝手に閣議決定する憲法違反の横暴な手法でおこなってきた。さらに、三本の矢にはじまり地方創生、働き方改革、人づくり革命など目くらましのスローガンを掲げるアベノミクスは、富める者をますます太らせ、福祉を切り捨て、貧困と格差を拡大し続けている。また、沖縄の民意を踏みにじって辺野古米軍新基地建設を強行し、圧倒的世論の反対を無視して原発再稼働をおこなってきた。そしてまた、森友・加計問題に現れているように、政治を私物化し横暴の限りをおこなってきた。本来、今選挙はこのような安倍政権の悪政に対する審判の選挙であった。

2

しかし、安倍政権は、トランプと組んで、第 2 次朝鮮戦争の危機を煽り、「国難」などと大げさな表現で上記のような悪政を覆い隠し、さらには安保関連法と改憲の必要性のプロパガンダに利用した。そして、安倍政権への審判を決定的に覆い隠したのは小池新党(希望の党)の登場であり、これに共犯した民進党の前原である。小池は、安保安法と 9 条を民進党合流組への踏絵としてリベラル派を排除したように、また日本会議国会議員連盟副会長であり、関東大震災での朝鮮人虐殺という歴史的事実を否定し、在日外国人参政権に反対しているように、安倍に勝るとも劣らない極右ポピュリストであり差別排外主義者である。

安倍自民党は、別動隊としての小池や維新によって争点をボカシ、野党を分裂させ、たかだか有権者の 20% の得票によって 2 / 3 を超える議席を獲得した。

3

勝利した安倍は、2019 年に「元号」を変え(天皇代替わり)、別動隊の希望、維新と共に自衛隊明記の憲法改定をおこない、新天皇と新憲法のもとで 2020 年の東京オリンピックを一あたかもヒトラーが 1936 年ベルリンオリンピックを民族の祭典として国威高揚に利用し、その後 39 年にポーランドに侵攻して第二次大戦を開始したことを思い起こさせる一目論んでいる。同時に、安保関連法や憲法の明文改定に先行した実態化は急速に進んでいる。沖縄の辺野古米軍新基地建設、京都・京丹後の米軍 X バンドレーダー基地の拡充、自衛隊の南西諸島への展開、米韓軍事演習に日本を巻き込む実戦さながらの展開などがトランプの米国と密接に連携しておこなわれている。

中国・ロシアだけでなく欧州各国が、またトランプの足下の米国でさえ多数がトランプの「冒険主義」に異議を唱えている。にもかかわらず唯一、日本の安倍政権のみが、トランプと一体となって戦争挑発をおこなっている。私たちは、トランプ—安倍の戦争挑発に反対し、平和的・外交的手段による解決を要求して闘い、改憲を阻止し、安倍政権打倒を目指して闘う。

4

安倍政権下のアベノミクスによって貧困と格差は拡大している。非正規雇用は 2000 万人 40% に達している。他方、企業の内部留保は 2004 年の 200 兆から 400 兆を優に超え、大企業は円安を利用して空前の利益を上げているのにもかかわらず実質賃金は下がり続けている。トリクルダウンドなど生じていない。さらに電通で氷山の一角が現れたように長時間労働がはびこるのを一切顧みず、安倍政権はさらに「残業代ゼロ法案」を準備している。近年頻出する、三菱自動車、東洋ゴム、東芝、日産、神戸製鋼などの「不祥事」=モラルダウンも企業の儲け主義と労働者の疲弊の結果でもある。私たちは、「社会的労働運動」を掲げ闘う労働組合と連帯して、労働市場の規制緩和に反対し、最低賃金の大幅引き上げ、同一労働同一賃金、長時間労働の禁止を要求して闘う。

## 5

近年、先進国では、トランプだけではなく、フランスのルペン、ドイツのAFD などをはじめ右翼ポピュリズムが台頭している。安倍—小池もそうである。資本主義の成長期には福祉政策のもとでの富の配分がなされ、分厚く形成された中産階級を基盤として中道右派・左派による二大政党制が機能してきた。だが新自由主義の下で、特に 2008 年リーマンショック以降の低成長（資本主義の行き詰まり）のもとで貧困、格差が拡大し中産階級が細り、それを基盤としていた二大政党制は各国で機能不全に陥ってきた。

格差の拡大を利用して人びとの対立を煽り、自身が既得権益者にもかかわらず、既得権益攻撃をデマゴグ的に宣伝して人びとの歓心を買うことを常套手段とする右派、極右が台頭してきた。彼らは、「社会主義」の崩壊と途上国の台頭によるグローバリズムの中での相対的競争力の低下と競争の激化の中で「自国ファースト」を掲げてナショナリズムを煽り移民、難民を排除し（かつては、それを奨励し低賃金でこき使い莫大な利益を享受してきた）、戦争の危機を作り上げている。

かつてのヒトラーや日本の軍部ファシストがそうであった。1929 年恐慌下での貧困と閉塞感の拡大の中で、ワイマール体制や政党政治の行き詰まりと腐敗という“それとしては、根拠のある既得権力を攻撃し、内部の敵（ユダヤ人）をでっちあげ外部の敵（ソ連や鬼畜米英）を作り上げナショナリズムを煽って戦争へと突入した。このように歴史は、貧困と戦争が常に結びついており、「体制」の行き詰まりの結果であることを教えている。私たちはこのような「病んだ社会」の根本的変革を目指して世界の人びとと共に闘う。

## 6

上記した右翼ポピュリズムの台頭の対極に、貧困、格差の拡大に反対し、戦争の危機に反対し、またエスタブリッシュメントによる政治の独占、私物化に対して真の変革を求める運動と政治勢力も勢いを増している。2011 年以降アラブの春にはじまり、ウォール街のオキュパイ運動、これはその後のサンダースを生み出す起点でもあった。またスペインのポデモスを生み出した 3・15 運動、またフランスのメランションの背景にある反緊縮闘争、そしてイギリス労働党のブレアのニューレイバーからの脱却とコービンによる左旋回、文政権を生み出した韓国の運動、日本の 3・11 反原発運動から始まる秘密保護法—安保関連法—共謀罪反対闘争、また沖縄の運動も 2011 年にはじまる世界同時の変革運動の一環である。

トランプ、安倍を先頭とする右翼ポピュリズムも「変革」を言う。だが彼らの「変革」は国家ファーストの戦争をするための「変革」であり国権主義であり、そこに住む人びとの平和のためのものではない。また彼らの「変革」は富める者をますます太らせ、貧困と格差を拡大する富者のための「変革」である。また、ますます一部のエスタブリッシュメントに政治を集中するための「変革」である。

私たちは、戦争のない社会、貧困と格差と差別のない社会、政治にすべての人びとが参加できる徹底した民主主義の実現のために、立ち上がりつつある世界の人びと、とりわけ東アジアの人びととの連帯を強めて闘う。

## 7

安倍政権は、今選挙での勝利に乗じて改憲を頂点とする攻勢を仕掛けてくるだろう。私たちはあらゆる戦線の闘いと共同して迎え撃つ。そのためには個々の戦線だけではなく、それらをつなぎ、力を強める新たな「政治勢力」が必要である。2011 年以降、運動の中から、多くの国で新たな「政治勢力」が誕生した。私たちは、あらゆる戦線で全力を尽くして安倍に反撃すると同時に、その過程で新たな「政治勢力」を生み出すためにも闘う。共に闘おう！

2017 年 10 月 29 日

## 10・29 第11回 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都

## 賛同人と賛同団体/賛同店

**賛同人** あ/ 青木 健、浅川 肇、芦名定道、天野 博、荒井康裕、荒金洋子、五十嵐 守、池田正和、磯田俊郎、伊藤公雄、稲村 守、井上加代子、井上和彦、井上 淳、岩崎裕保、岩田吾郎、岩津雅典、岩本乾治、岩本昌美、上谷順子、上田誉志美、上野武人、上原敦男、牛尾国彦、宇城順子、内富 一、江口慶明、仰木 明、岡田雅宏、大井哲郎、大川傳四郎、大川なを、太田俊夫、大谷和雄、大野ひろ子、大濱冬樹、大湾宗則、小川成子、落合祥堯 音谷健郎 か/ 海藤壽夫、垣沼陽輔、片山昌伸、加藤幹雄、笠村正人、笠村容子、金丸 博、蒲牟田桂子、川崎松男、川島繁夫、川嶋澄夫、河野正子、河村栄三、河村宗治郎、川村 望、岸園正俊、木下俊子、木村 守、木原壯林、工藤美彌子、黒石昌朗、黒田伊彦、高 敬一、鴻池 博、小島富紀子、児玉利春、小西弘泰、小林圭二、駒井高之、桑山義隆、康 由美、呉 時宗、小山敏夫、近藤好澄、近藤弘子 さ/ 酒井満、佐々木佳継、佐藤浩一、佐藤 大、実藤光子、澤 隆文、三野英二、篠田美津代、嶋川まき子、城 富典、柴田朋三、柴野貞夫、清水達也、白井美喜子、白永昇次、徐 翠珍、新開純也、末田亜子、杉村昌昭、須田 稔、関 俊子 た/ 高崎庄二、高瀬元通、高橋純一、高橋幸子、田川晴信、瀧川順朗、武市常雄、竹内 宙、竹内正三、竹田雅博、竹中暉雄、田代 学、田中徹、谷 直樹、谷口ひとみ、崔 忠植、知花昌一、千葉宣義、千葉洋志、趙 博、塚口幸子、塚本泰史、角替 豊、寺田道男、東條文規、銅銀正美、外川正明、富田英司 な/ 内藤 進、仲尾 宏、仲宗根朝寿、中川光子、中沢浩二、中濱良二、中河由希夫、中田光信、中村在男、中森 昭、永井美由紀、永岡浩一、永嶋靖久、長野博行、鍋島浩一、難波希美子、西 明良、西村修、西村広宣、沼田充廣、根津幸彦、根本 博、野口 修、野坂昭生 は/ 朴 実、橋野高明、橋本 昭、橋本利昭、服部良一、原 和美、妻 梨花、長谷川存古、長谷川 薫、早野陽之介、樋口幸恵、菱木康夫、人見ジュン子、平手徳彦、府上征三、福井滂子、福山義和、藤井悦子、藤井 聡、藤川純子、藤本孝一郎、藤原史朗、二葉晃文、古橋雅夫、星川洋史、星野光敏、堀 義明 ま/ 前田裕晤、前田陽子、前田正明、増野 徹、松川洋裕、松川敦子、松崎五郎、松下佳弘、松田耕典、松野尾かおる、松原康彦、松村美会子、三浦俊一、蜜山純子、三橋秀子、南 俊二、宮崎康人、宮本博志、向井 均、村上隆之、村上ひとみ、茂木 康、物江克男 や/ 柳田 健、山内義広、山下和海、山下けいき、山崎隆敏、山田耕作、山田 謙、山田 肇、山地政司、山西喜子、山元一英、山本善偉、山本 純、山本 恵、山本将嗣、山本由美子、湯浅 進、湯山哲守、吉武仁貞、吉本 昇、吉村文彦、米澤鐵志 わ/ 脇浜義明、和田孝雄、和田康彦 (敬称略)

**賛同団体/賛同店** アジア共同行動・京都/ アジェンダ・プロジェクト京都/ 米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会/ 沖縄・辺野古への新基地建設に反対し普天間基地の撤去を求める京都行動/ 怒っているぞ！障害者切り捨て！ネットワーク関西/ オリーブの会/ 海曜社/ 風をおこす女の会/ 釜ヶ崎日雇労働組合/ 釜ヶ崎連帯委員会/ かりの会/ 関西共同行動/ 関西合同労組/ 関西合同労組大阪支部/ 関大校友連絡会/ 「共生連帯」近畿 / キッチン・ハリーナ/ 京都大学社会科学研究会ピース・ナビ/ 京都「天皇制を問う」講座実行委員会/ 京都府教職員組合(きょうと教組)/ 「君が代」処分と闘う山田さんを支える会/ 9条改憲阻止共同行動/ ギャラリー・ヒルゲート/ ぐるーぷ ちゃんぷる/ 憲法を生かす京都の会/ 「国策と闘う」実行委員会/ コラボ玉造/ 三里塚決戦勝利関西実行委員会/ 柴野貞夫時事問題研究所/ 社民党伏見総支部/ 新社会党京都府本部/ 真宗大谷派・9条の会/ 真宗大谷派速成寺/ 消費者経済研究所/ 新空港反対東灘区住民の会/ 10・8 山崎博昭プロジェクト/ 人民新聞社/ ストップ・ザ・もんじゅ/ 戦争あかん！基地いらん！関西のつどい実行委員会/ 戦争をさせない左京1000人委員会/ 全日本港湾労働組合関西地方大阪支部/ 全日本建設運輸連帯労働組合近畿地方本部/ 朝鮮統一支持運動第 35 回全国集会・京都実行委員会/ 使い捨て時代を考える会/ 東西本願寺を結ぶ非戦・平和共同行動実行委員会/ 錦歯科診療所/ 日本キリスト教団京都教区「教会と社会」特設委員会/ No Base！沖縄とつながる京都の会/ 阪神社会運動情報資料センター/ 反戦老人クラブ・京都/ 反戦老人クラブ・滋賀/ 反「入管法」運動関西交流会/ パンドラディ/ ピースムーヴメント/ 兵庫県被災者連絡会/ ふえみん婦人民主クラブ京都/ ふえみん婦人民主クラブ滋賀/ 平和憲法の会・京都/ まほろば/ 緑と市民とネット運動・e 未来の会/ 緑の党グリーンジャパン京都府本部/ 元町憲法9条の会/ 労働者共闘/ 若狭の原発を考える会/

(2017年10月23日現在 賛同人 222人、賛同団体/賛同店 64)

\*なお、上記以外に公表を控えた多数の賛同人がおられることを記しておきます。

そして、この集會に賛同され、これまでに逝去された方々の冥福を心からお祈りします。(集會実行委員会一同)

## インターナショナル

起て飢えたる者よ 今ぞ日は近し  
醒めよわが同胞(はらから) 暁は来ぬ  
暴虐の鎖断つ日 旗は血に燃えて  
海を隔てつわれら 腕(かいな)結びく  
いざ闘わんいざ 奮い立ていざ  
ああインターナショナル われらがもの  
いざ闘わんいざ 奮い立ていざ  
ああインターナショナル われらがもの

聞けわれらが雄たけび 天地轟きて  
屍(しかばね)越ゆるわが旗 行く手を守る  
圧政の壁破りて 固きわが腕(かいな)  
今ぞ高く掲げん わが勝利の旗  
いざ闘わんいざ 奮い立ていざ  
ああインターナショナル われらがもの  
いざ闘わんいざ 奮い立ていざ  
ああインターナショナル われらがもの

---

## 第11回 反戦・反貧困・反差別共同行動in京都 集会スローガン

- ① 戦争法廃止！集团的自衛権の行使を許すな！秘密保護法・共謀罪廃止！
- ② 大飯・高浜・美浜の原発再稼働を許さず、すべての原発を廃炉に！  
核燃料サイクルをやめろ！原発輸出をやめろ！  
政府・東電は事故の全責任を取れ！  
被曝労働を強制するな！放射能汚染から子どもたちを守れ！
- ③ 辺野古への新基地・高江ヘリパッド建設を許すな！  
米軍普天間基地の即時撤去を！オスプレイの配備撤回！  
日米地位協定の抜本改正を！南西諸島の自衛隊配備阻止！  
平和な島に基地はいらない！
- ④ 京丹後の米軍Xバンドレーダー基地の撤去を！
- ⑤ 日米韓合同軍事演習反対！日韓へのTHAAD(サード)ミサイル配備反対！
- ⑥ アジア民衆への加害の歴史をかくすな！
- ⑦ 格差社会を打ち破り、人らしく生きられる世界を！
- ⑧ あらゆる差別・排外主義に反対し、人権を確立せよ！
- ⑨ 消費税廃止！税金は金持ちと大企業から取れ！
- ⑩ 憲法改悪反対！天皇の「元首化」を許すな！  
主権在民、戦争放棄、基本的人権を守ろう！

---

### 主催 反戦・反貧困・反差別共同行動 in 京都 実行委員会

代表世話人 仲尾 宏  
世話人 大濤宗則、工藤美彌子、小林圭二、新開純也、高橋幸子、  
田川晴信、瀧川順朗、千葉宣義、野坂昭生、米澤鐵志 (アイウエオ順)

連絡先 〒601-8003 京都市南区東九条西山王町1-15 三星ビル304号  
NPO社会労働センター きずな 内

問合せ先 ☎ 090-5166-1251 (事務局長・寺田道男) FAX 075- 981- 4121

HP <http://www.kyotohansen.org>

賛同/カンパ振込先 郵便振替(番号) 00950-5-108500  
加入者名 反戦・反貧困・反差別共同行動(きょうと)

---